

Bridge

vol.8

KINJO GAKUIN UNIVERSITY Parents' Association Report
金城学院大学 父母会会報 [ブリッジ8号] 2012.7

Bridge vol.8
巻頭特集対談

金城学院大学

奥村隆平学長

金城学院大学父母会

浅井清司会長

父母会と大学との
協調関係が
人を育む、未来を創る。



Bridge vol.8 巻頭特集対談

金城学院大学

奥村隆平学長

Ryuhei Okumura

金城学院大学父母会

浅井清司会長

Seiji Azai

父母会と大学との 協調関係が 人を育む、未来を創る。

時代の変化にあわせ、つねに進化し続ける金城学院大学。
2012年4月には、日本の経済学研究の第一人者である
奥村隆平氏を学長に招き、未来に向けた新たな体制づくり
乗り出しています。
新学長は、金城学院大学へどのような思いを寄せているのか…。
そして、大学を支える父母会との連携体制はどうあるべきか…。
奥村隆平学長と浅井清司父母会会長に、率直な思いを伺いました。

■金城学院大学のイメージと実際

4月に就任されたばかりの奥村学長は、
金城学院大学にどのようなイメージを
お持ちでしたか。

奥村隆平学長（以下敬称略／奥村） 一般的に、
金城学院大学の学生は、お嬢様とか品位がある
というイメージを持たれていると思います。名前
もイメージも広く浸透しているというのが率直
な感想です。私も、生まれは東北ですが1983
年からずっと名古屋で暮らしており、「名古屋の
女子大といえば？」と聞かれていけば初めに頭
に浮かぶのが金城学院大学でした。

今年で父母会会長5年目を迎えた浅井様は、
熱心な金城ファンだと伺っております。

浅井清司父母会会長（以下敬称略／浅井） 私
は、若い頃から金城生のエレガントで魅力的なと
ころに惹かれておりまして、仰る通り金城ファン
の一人を自認しております。結婚するなら金城の
卒業生、娘ができたなら金城に入学させたい、と
思っております。

その思いが叶って家内は金城出身で、3人の
娘も中学から大学まで金城のお世話になってお
ります。今は、3人目の娘が情報文化学科の4
年に籍を置いております。120周年の式典の
ときには、親子三世代金城の卒業生ということ
で表彰までしていただき、たいへんありがたく
思っております。

奥村／表面的にはお嬢様というイメージを持っ
ていましたが、私はここへ来てすぐ、キリスト教
主義に則った教育がしっかりされていると感じ
ました。毎朝の礼拝をはじめ、カリキュラムを見

てもキリスト教精神を教育する科目が整って
います。

それから、キャンパスですれ違った学生がみん
な、私に挨拶してくれたのには驚きました。赴任
したばかりでしたから、私が学長だということに
気づかない学生も多かったと思います。誰にでも
自然に挨拶できる学生たちとたくさん出会う、
人間教育が行き届いている大学だと思いました。
イメージだけでなく実質も伴っている、そう実
感しました。

数年前に出された本（※1）ですが、金城学院
大学は、「美しいキャンパス」のランキングで全国
第3位に選ばれています。建物や自然だけを
とつたらもつときれいな大学はたくさんあるの
ですが、学生のマナーも評価対象となっており、
そのうえでの結果を誇りに思います。

浅井／私も、漠然とした憧れから3人の娘を入
学させましたが、父母会会長を仰せつかってから
大学の魅力について真剣に考えるようになり、
福音主義キリスト教に基づくミッションスクー
ルであるということを強く感じました。花と緑
にあふれたミッションスクールらしいキャンパスは
もちろんのこと、大学の教育スローガンである
「強く、優しく。」という学生が非常に多いと思っ
ております。

教職員に対してはどのような印象を
お持ちになりましたか。

奥村／人間的で温かみがあるという印象を持ち
ました。それから、多様な学部学科があるため教
員の個性も多彩で、会議などでは発想が偏らず
に雰囲気も柔らかい。また、職員がしっかりして
おり、私がいろんなことを言わなくても、きちん
と進んでいく組織ができていると感じました。



Profile
金城学院大学学長
奥村 隆平
Ryuhei Okumura

東北大学大学院経済学研究科にて博士課程単位
取得後、弘前大学人文学部助教授、名古屋大学
経済学部・経済学研究科教授を経て、2012年4
月、金城学院大学学長に就任。

学 位／経済学博士
専門分野／国際経済学
研究課題／国際経済における貨幣的側面の研究
国際経済における資源・環境問題
所属学会／日本国際経済学会 日本経済学会
所属教会／日本キリスト教団名古屋教会

Profile
金城学院大学父母会会長
浅井 清司
Seiji Azai

2008年より父母会会長を務め、今年で5年目を
迎える。3人のご息女が金城学院大学へ入学され、
学院創立120周年、大学設立60周年の節目も含
め、これまで約10年にわたって大学の変遷をご覧
になってきた。

キャリア支援センターが行う、今後の就職関連ガイダンス&セミナー【2012年度】

3年生対象(葉学部を除く)		
就職ガイダンス(第5回)※1	9/24(月)~28(金)※2	
求職登録カード・自己分析シートの提出	9/27(木)・28(木)、10/1(月)~12日(金)※3	
就職ガイダンス(第6回)※1	10/15(月)~18(木)	
就職総合テスト	10/25(木)	
OG懇談会(企業)	10/25(木)	
公務員・教員 就職ガイダンス(第2回)	10/26(金)	
ご父母向け就職説明会	10/27(土)	
就職ガイダンス(第7回)※1	10/29(月)~11/1(木)	
コミュニケーション講座	11/10(土)	
グループ別ガイダンスvol.1	11/12(月)~22(木)※4	
就職ガイダンス(第8回)※1	11/19(月)~22(木)	
グループ別ガイダンスvol.2	12月~3月※5	
OG懇談会(幼・保・小)	12/8(土)	
学内企業セミナー(管理栄養士)	12/8(土)	
学内企業セミナー(企業)	1/22(火)~24(木)、2/4(月)~6(木)	
学外企業セミナー(企業)	2/7(木)	
就職ガイダンス(幼・保・小)	3月上旬	
求人票紹介ガイダンス(企業)	適時開催	

葉学部5年生対象		
就職ガイダンス(第3回)	8/1(水)~3(金)	
就職ガイダンス(第4回)	11/26(月)	
学内企業セミナー	12/15(土)	

※1: 幼稚園・保育園・小学校への就職希望者を除く ※2: 9/26(水)を除く ※3: 土日祝を除く ※4: 土日を除く ※5: 随時開催

キャリア・アップ講座

人気の資格対策、就職対策の講座が満載。学生時代にいろいろなことにチャレンジしてください。



9月募集 予約期間:9/26(水)~28(金)

- 一般常識対策講座(実践コース)
- 自己PR・志望動機作成講座
- 書類審査対策講座
- グループディスカッション対策講座
- 面接対策講座
- SPI対策講座(自宅学習DVD及びテキスト) [1~3年生コース]
- 就活メイク

- 公務員試験 一般教養試験対策講座(応用コース)
- 教員採用模擬試験(12月受験)

12月募集 予約期間:12/3(月)~5(水)

- 一般常識を身につける講座(自宅学習DVD及びテキスト)
- 「基礎学力」養成講座
- 基礎学力講座(自宅学習DVD及びテキスト) (3年生コース)
- SPI対策講座(自宅学習DVD及びテキスト) (3年生コース)
- 公務員試験 一般教養試験対策講座(直前コース)
- 教員採用試験対策講座(教養試験コース)
- 教員採用試験対策講座(小学校全科コース)

- サービス介助士準2級検定取得講座(春休みコース)
- ホームヘルパー2級養成講座

- Word 2010 スペシャリスト(基礎) 試験対策講座(春休みコース)
- Excel 2010 スペシャリスト(基礎) 試験対策講座(春休みコース)

研究トピックス

海外研修助成費をいただいて

大学の研究から、学生のクラブ・サークルまで。父母会はさまざまな活動をサポートしています。

アメリカのアンバンクトについての現地調査

世界には、基礎的な金融サービスにアクセスできない人々が25億人以上います。それは途上国に限られません。最先端の金融技術を誇るアメリカでも事態は深刻です。アメリカには、銀行口座をもっていない、あるいは、口座をもっていたとしても日常的に銀行を利用できない人々が、少なくとも成人だけで6,000万人、子どもも含めると1億人もいます。米国民のおよそ3人に1人です。こうした人々のことを、銀行から排除されているという意味で、「アンバンクト」(unbanked)と呼びます。

日本でも生活に銀行口座は欠かせませんが、現金を使わないキャッシュレス社会のアメリカではなおさらです。アメリカでは、スーパーで少額の買い物をするのにもカードを使うのが一般的です。カードには口座が必要ですし、また、給料や賃金を小切手で受け取り、それを現金化し、公共料金など請求書の支払いをするのにも口座は欠かせません。

日本に進出している米系銀行に口座をお持ちの方は、通帳がない、口座維持手数料がかかる、最低預金残高があるなど、日本との違いに戸惑いを覚えたことと思います。アメリカで低所得者がそうした口座を保有すると、罰金のような思わぬ手数料を取られることがあります。銀行は彼らを「顧客」とは考えていないからです、低所得者も銀行を敬遠するのです。代わりに銀行以外の手段を使うのですがこれも問題があります。たとえば、2週間ごとの給料日までの生活費を工面するために、ペイデーローン(給料日に返済する借入)を利用した場合、年率換算すると、金利は400%



以上に上ります。しかも、1回限りではなく、何度も借り換えをする人がほとんどです。私は、2011年度父母会海外研修助成費を受け、アンバンクトについて現地調査を行いました。研究者との意見交換のほか、銀行、信用組合、金融当局を訪問しました。なかでも刺激的だったのは中南米からの移民の人々への聞き取りです。郊外のショッピングモールの駐車場に、彼らは日雇いの仕事を探しに朝から集まっています。そこに飛び込み、彼らのストーリーを聞いたことは大きな成果でした。たとえば、彼らは、口座を保有してなくても、母国の家族に毎日電話するために、身分証明のいらないプリペイド式の携帯電話をもっています。そうした携帯電話やプリペイドカードを活用した支払方法や母国送金が急速に普及していることに驚きを覚えました。

この現地調査については、様々な所で成果を発表しつつあります。また、貴重な調査機会を頂いたおかげで、研究課題が明確化し、2012年度より科学研究費補助金を受けることができ、外部の財団からも研究助成を受けられることになりました。心より御礼を申し上げますとともに、本学の研究への支援を引き続きお願い申し上げます。

国際情報学部 国際情報学科

大橋 陽 准教授

専門分野:アメリカ経済論・経済史



奥村／女性の社会進出が叫ばれるようになってかなり経ちますが、男女共同参画が国策として進められているうちは、まだ本当に女性の力を認めて活かしているとはいえません。働く女性が増えたといっても、男性よりも賃金が安いから雇用しているというケースは決して少なくないと思います。

しかし、日本は少子高齢化が進み、今後、労働力不足が大きな問題になるのは間違いないですね。そうなったとき、男性と同じ教養と専門的スキルを持った女性が必ず必要とされ、リーダー

女子大学としての使命をどのように受け止めていらっしゃいますか。

女子教育の担い手として

浅井／事務局を訪れるたびに、学生と職員の方とのやりとりをそれとなく拝見するのですが、非常に懇切丁寧に対応していただいております。大人しい学生に対しても、積極的にお声をかけていただいている光景を何度も見ており、職員の方々のお人柄や使命感の現れではないかと感謝しております。会社を営んでいる人間として、社員もこれぐらいのモラルを持っているれば会社も発展するんじゃないかと、羨ましく思っております。

奥村／私が赴任する前のことでしたが、国家資格の合格率を上げる際には、各ご家庭に手紙をお送りし、「ご家庭で勉強しやすい雰囲気を整えていただきたい」とお願いしたと聞いています。高い合格率は、父母の皆さまのご理解、ご協力の賜物だと思います。また、マナーの向上についても、大学だけでできるものではありません。

大学と父母会との連携強化

大学と父母会との今後の連携体制について、お考えをお聞かせください。

奥村／自分で生きていく能力のひとつに、資格があると思います。専門的技術の証明でもある資格取得には力を入れ、代表的なものとして管理栄養士は100%、薬剤師は92.4%の合格実績を上げています。大学として国家試験対策室を設けて受験指導をしてきましたが、それだけではなく、父母の皆さまにもご協力をいただいた結果でもあります。

浅井／就職という点について考えますと、以前は「金城の卒業生なら無条件で採用」という企業が多かったです。しかし、経済環境が厳しくなっています。

「金城ブランド」が通用しなくなり、自分で生きていく能力が必要となります。そういう女性になってほしいというのが親の切なる願いです。今まで以上に科目の充実や指導を徹底していただけることを望んでおります。

奥村／自分でも生きていく能力のひとつに、資格があると思います。専門的技術の証明でもある資格取得には力を入れ、代表的なものとして管理栄養士は100%、薬剤師は92.4%の合格実績を上げています。大学として国家試験対策室を設けて受験指導をしてきましたが、それだけではなく、父母の皆さまにもご協力をいただいた結果でもあります。

奥村／父母会と大学は車の両輪と同じであり、同じ方向で回っていかないと車に乗っている学生が混乱します。連携を深めていくためには、双方の理解が必要となります。そのため大学としては、教育方針をはじめ、大学の考えや今やっていることを父母会の皆さまへ丁寧に詳しく伝えていくことが重要だと考えています。

今後の大学の発展に向けて、ご要望や課題があればお聞かせください。

浅井／娘を入れてよかったと思える大学であり、続けてほしい、というのが率直な思いです。大学の主役は学生であり、教職員の皆さんであります。あまり差し出がましいことは申し上げないようにしようと思っております。大学からのご要望や相談をいただいたときには、全面的に協力をしていきたいと考えております。

奥村／父母会と大学は車の両輪と同じであり、同じ方向で回っていかないと車に乗っている学生が混乱します。連携を深めていくためには、双方の理解が必要となります。そのため大学としては、教育方針をはじめ、大学の考えや今やっていることを父母会の皆さまへ丁寧に詳しく伝えていくことが重要だと考えています。

浅井／まったく同感です。すべてを大学に任せるのではなく、私たちも協力していきたいと考えております。私が父母会会長に就任したときから、「大学と家庭との協力体制をさらに進めたい」ということを、機会があるたびに会員の皆さまに申し上げてきました。その成果が出てきていると何となく嬉しく思っております。



奥村／父母会の皆さまには、多額な援助と日々のご協力への感謝の気持ちでいっぱいですが、皆さまのご期待にお応えできるように、これからも「福音主義キリスト教に基づく女子教育」「全人的な教育」「国際理解の教育」という建学の三精神を堅持して教育を続けていきます。

また、金城学院キャンパスマスタープラン(KMP21)が、今年の末から本格的に動き出します。たとえば、キャンパスの隅々に無線LANを張り巡らして、携帯端末を持つていればいつでも、どこからでも履修登録ができるようにするなど、学生にとって便利な環境を整えていきます。

快適で利便性に富んだキャンパスをめざして大改革を進めていきますので、父母会の皆さまにはこれからも、ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

※1 教育ジャーナリスト小林哲夫氏著「ニッポンの大学」講談社現代新書

予算及び決算につきまして、主な点を説明します。

2011年度決算について

すべての事業につきまして、予算内で執行することができました。就職が厳しくなっている情勢に対応するため、卒業年次生の就職支援及び、1・2年生への意識啓発のための助成や学生が学習成果を公表するための助成をいたしました。

2012年度予算について

ますます厳しくなる就職状況を鑑みて、キャリア支援を強化するため、先輩からのアドバイスを集めた「アドバイスブック」の作成費用として学生キャリア教育助成費の増額、キャンパスマスタープランに伴う学生施設建替のための学生施設建設助成積立金の増額、周年事業のための積立金の増額が承認されました。

金城学院大学ホームページ
ご父母専用タグのご案内

金城学院大学のホームページ(www.kinjo-u.ac.jp)には、ご父母の方々に父母会の情報をご覧いただけるよう、ご父母向けのコーナーを用意しております。ぜひ一度ご覧ください。

今年度も夏休みに地区別懇談会を開催します。

昨年度と同じ4会場で開催する予定です。大学の現状や当該地区における就職状況の説明の後、就職、教務、学生生活に関するご相談などを個別に受け付けます。下記の地区の方々には、別途ご案内をお送りしておりますので、お申込のうえご出席ください。なお、開催日程は以下の通りです。

浜 松	グランドホテル浜松	8月25日(土)	13:30~16:00
岐 阜	岐阜グランドホテル	9月 1日(土)	13:30~16:00
四日市	四日市都ホテル	9月 8日(土)	13:30~16:00
金 沢	金沢都ホテル	9月15日(土)	13:30~16:00

総会報告

去る2012年6月6日(水)大学にて父母会総会が開催され、2011年度の事業報告・決算、2012年度の事業計画・予算などが承認されました。

◎収入の部	2011年度収支決算			2012年度収支予算		
	決算額	予算額	増減	2012年予算額	2011年予算額	増減
前年度繰越金	32,679,667	32,679,667	0	38,025,137	32,679,667	5,345,470
入会金 7,000円	9,254,000	9,254,000	0	8,834,000	9,254,000	△420,000
会費 12,000円	63,958,500	65,292,000	△1,333,500	65,952,000	65,292,000	660,000
雑収入 預金利息	38,738	100,000	△61,262	100,000	100,000	0
合計	105,930,905	107,325,667	△1,394,762	112,911,137	107,325,667	5,585,470
◎支出の部	決算額	予算額	増減	2012年予算額	2011年予算額	増減
学生教育助成費	3,851,900	4,500,000	△648,100	5,000,000	4,500,000	500,000
学生キャリア教育助成費	13,230,000	13,230,000	0	14,730,000	13,230,000	1,500,000
学生活動助成費	10,389,030	11,237,400	△848,370	11,314,400	11,237,400	77,000
学生指導助成費	1,953,084	3,264,600	△1,311,516	3,297,600	3,264,600	33,000
教育研究助成費	9,495,986	12,334,000	△2,838,014	12,389,000	12,334,000	55,000
教員研修助成費	2,889,300	4,605,600	△1,716,300	3,931,260	4,605,600	△674,340
事務研修助成費	1,600,000	1,600,000	0	1,600,000	1,600,000	0
地区別懇談会助成費	2,309,422	3,000,000	△690,578	3,000,000	3,000,000	0
卒業記念事業費	3,969,840	4,000,000	△30,160	4,000,000	4,000,000	0
環境整備助成費	5,000,000	5,000,000	0	5,000,000	5,000,000	0
父母会活動費	6,941,921	8,900,000	△1,958,079	8,900,000	8,900,000	0
学生施設建設助成積立金	3,000,000	3,000,000	0	5,000,000	3,000,000	2,000,000
周年事業積立金	3,000,000	3,000,000	0	5,000,000	3,000,000	2,000,000
雑費	275,285	1,000,000	△724,715	1,000,000	1,000,000	0
予備費	0	28,654,067	△28,654,067	28,748,877	28,654,067	94,810
次年度繰越金	38,025,137	—	38,025,137	—	—	—
合計	105,930,905	107,325,667	△1,394,762	112,911,137	107,325,667	5,585,470
◎特別会計の部	組入額					
周年事業積立金	6,000,000					
学生施設建設助成積立金	9,000,000					

2011年度事業報告

父母対象 大学説明会 ■2011年4月1日(金)	【内容】 □キリスト教教育について □学生生活について □教務上の諸事項について □キャリアアップ講座について □大学父母会の活動の協力について
役員会 ■2011年5月18日(水)	【役員会】 総会審議事項の確認 □2010年度事業報告 □2010年度会計報告 □2011年度役員・委員候補者 □2011年度事業計画 □2011年度予算 教育懇談 【歓送迎会】 新旧役員及び大学役職者の歓送迎会
総会 ■2011年6月1日(水)	【総会】 □2010年度事業報告 □2010年度会計報告 □2011年度役員・委員候補者 □2011年度事業計画 □2011年度予算 【全体説明会】 □大学の現状報告 就職状況について 【講演会】 演題:「現代医療とホスピス」 講師:学院長・学長 柏木 哲夫 氏 【学科別懇談会】 学科ごとに教員との懇談
委員との 懇談会 ■2011年7月22日(金)	【内容】 講演:「みんなで楽しむ日本語」 講師:文学部長 藤原 雅憲 氏 【懇談会】 父母会役員・大学役職者とクラス委員との懇談会
地区別懇談会 ■四日市: 2011年8月27日(土) ■金 沢: 2011年8月30日(火) ■浜 松: 2011年9月 3日(土) ■岐 阜: 2011年9月10日(土)	【概要】 □大学の教育方針・近況等説明 □学生生活上の説明 □個別懇談(成績関係、就職関係、その他) 【出席者】 □四日市 … 父母・学生110名、大学側18名 □金沢 … 父母・学生 15名、大学側 6名 □浜松 … 父母・学生 90名、大学側15名 □岐阜 … 父母・学生129名、大学側22名
定期懇談会 ■2011年12月1日(木)	【議題等】 □大学の近況報告 □今後の父母会活動について □教育懇談
役員会 ■2012年2月16日(木)	【議題等】 □今年度父母会活動の総括 □卒業記念品について □教育懇談
役員会 ■2012年3月17日(土)	【議題等】 次年度日程について

2012年度事業計画

父母対象 大学説明会 ■2012年4月2日(月)	【内容】 □キリスト教教育について □学生生活について □教務上の諸事項について □キャリアアップ講座について □大学父母会の活動の協力について
役員会 ■2012年5月16日(水)	【役員会】 総会審議事項の確認 □2011年度事業報告 □2011年度会計報告 □2012年度役員・委員候補者 □2012年度事業計画 □2012年度予算 教育懇談 【歓送迎会】 新旧役員及び大学役職者の歓送迎会
総会 ■2012年6月6日(水)	【総会】 □2011年度事業報告 □2011年度会計報告 □2012年度役員・委員候補者 □2012年度事業計画 □2012年度予算 【全体説明会】 □大学の現状報告 就職状況について 【講演会】 演題:「経済学の考え方」 講師:学長 奥村 隆平 氏 【学科別懇談会】 学科ごとに教員との懇談
委員との 懇談会 ■2012年7月19日(木)	【内容】 講演:「被服の専門を生かした社会貢献活動」 講師:生活環境学部長 青山 喜久子 氏 【懇談会】 父母会役員・大学役職者とクラス委員との懇談会
地区別懇談会 ■浜 松: 2012年8月25日(土) ■岐 阜: 2012年9月 1日(土) ■四日市: 2012年9月 8日(土) ■金 沢: 2012年9月15日(土)	【概要】 □大学の教育方針・近況等説明 □学生生活上の説明 □個別懇談(成績関係、就職関係、その他)
定期懇談会 ■2012年12月6日(木)	【議題等】 □大学の近況報告 □今後の父母会活動について □教育懇談
役員会 ■2013年2月14日(木)	【議題等】 □今年度父母会活動の総括 □卒業記念品について □教育懇談
役員会 ■2013年3月18日(月)	【議題等】 次年度日程について

会員皆様におかれましては、いよいよ清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は父母会の活動に深いご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。会員皆様と父母会を結ぶ架け橋といたしまして「Bridge」8号をお届けいたします。

2008年に会長を拝命いたしまして今年で5年目を迎えることとなりました。この間、金城学院創立120周年・大学設立60周年の大きな節目の年や東日本大震災のような大きな災害の発生しました年も経験いたしました。いずれも会員皆様ならびに役員の皆様、学院・大学関係者の皆様の絶大なるご協力によりまして、父母会といたしまして適切な対応ができましたことをあらためまして感謝申し上げます。

昨年は、金城学院の後援組織であります「金城学院維持協力会(Kinjo Gakuin Fellowship)」が発足いたしました。金城学院に娘を通わせる親といたしまして、娘の卒業後も娘がお世話になりました金城学院を外部から見守ってまいりたいとの思いから、私も後援組織の設置を希望しておりました。発足にあたっては、多くの法人・個人の皆様が趣旨に賛同され、入会されたと聞いております。父母会会員の皆様にもぜひご入会いただき末長く金城学院をお見守りいただきますようお願い申し上げます。大学のキャンパスは今後10年間にわたって、新しい礼拝堂を中心として、それを取り囲むように学び舎が新築されていくと伺っております。金城学院は120年余の長きにわたりまして多くの方々の善意によって支えられ、今日まで歴史を刻んでまいりました。今後こうした良き伝統が末永く続きますことと会員皆様のご健勝を心からお祈り申し上げまして、ごあいさつに代えさせていただきます。

本年4月に学長に就任しました奥村隆平です。私はこれまでずっと名古屋大学経済学研究科で教授として勤めていましたので、金城学院大学から学長就任の要請をいただいたときは大変驚きました。しかし、私自身クリスチャンですので、キリスト教主義の大学に招かれたことに、違和感はありませんでした。

さて、6月6日の父母会総会に出席させていただき、父母会のお働きを知りました。本学の学生への多大な教育助成や教員への研究助成に感謝いたします。更には、2011年度父母会卒業記念品として、E3号館ラウンジの椅子・テーブルをご寄付いただき、キャンパスの整備に役立てることができました。今後は、「金城学院キャンパスマスタープラン(KMP21)」に基づき一層の整備を続けてまいります。

今後の大学の運営方針といたしましては、とにかく新米ですので、急に独自の指針を出すというわけにはいかないのですが、これまでの大学の歩みを継承し、発展させていくことが私の務めであると思っています。私は金城学院大学の大切な特色は、「福音主義キリスト教に基づく女子教育」と「森の中のキャンパス構想」であると考えています。第1の点について言えば、今後、世の中は少子高齢化でますます労働力が不足し、今以上に女性の社会進出が期待されるようになります。リーダーシップのとれる女性がさらに必要とされる時代になります。金城学院大学の教育スローガンは「強く、優しく。」ですが、広い教養、高い専門的知識、あるいは的確な技能など社会で生きる上での強みを持ちながら、隣人に対して愛をもって接することのできる優しさを身に着けた女性を育成したいと思っています。

本学のもう一つの特色は、緑に包まれた「森の中のキャンパス」であるということです。自然林に囲まれた環境で学ぶことによって、自然との共生や自然環境の保護に目が向けられていくことでしょう。日本と世界の未来を考えると環境問題について無関心ではられません。この意味で本学は学びの場として理想的な環境を提供しているのです。

金城学院大学は、これまでキリスト教精神に基づく女性のための理想的な教育を追及してまいりました。これからもその歩みを続けてまいります。

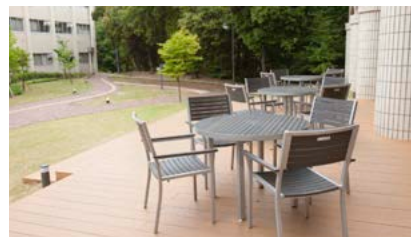
学内トピックス

学生が昼食をとったり、授業の合間に歓談したりするスペースとしてE3号館ラウンジが利用されておりますが、設置してから年数が経過し、設備が老朽化しておりましたので、2011年度の卒業記念品としてテーブル、椅子などを寄贈いたしました。ラウンジの外のウッドデッキにも新たにテーブルと椅子を設置し、気候のよい季節にはテラスでの語らいも楽しむことができます。

卒業記念品として
E3号館ラウンジの
椅子、テーブルを寄贈



E3号館ラウンジ



ラウンジの外のウッドデッキ